

上智大学地球環境研究所主催

大規模な水害マネジメントはどこに向かうべきか

Where should the management of large-scale flood disasters head for?

近年、大雨や短時間強雨の発生頻度が増加し、想定を超える大規模な氾濫、水害の激甚化が懸念されます。このため、計画規模を超える豪雨が引き起こす「最悪の事態」への対応に新しいコンセプトとイノベーションが求められています。このような背景で、上智大学は暁道学長のリーダーシップの元で学融合型の“知”水から治水までの研究に取り組んでいます。本シンポジウムはこの研究活動の一環として企画され、日本土木学会会長家田仁教授（政策大学院大学）と International Association for Hydro-Environment Engineering and Research の元会長玉井信行先生（東京大学名誉教授）から災害マネジメントの最新動向と今後の方向性に関するご講演を頂くことが主な目的です。また、中国の危機管理体系のご紹介、文理融合型の総合討論およびメディア視点から災害情報に関する話題提供はこのシンポジウムのもう一つの特色です。

2020

11.13

13:00 - 15:30

on Zoom

▼要予約（定員 100 名）



<https://eipro.jp/sophia/events/view/SORW20201113>

▶プログラム

13:00-13:10 上智の水害研究とシンポジウム趣旨説明：
黄 光偉 教授（上智大学地球環境学研究科教授・地球環境研究所長）

13:10-13:45 特別講演：
大災害への的確な対応－土木学会からの提言
家田 仁 教授
（土木学会会長・政策大学院大学教授・東京大学名誉教授）



13:45-14:05 ゲスト講演：
The Latest Development of Disaster Emergency Response in China
Ms. Fan Juan（Vice Director of General Management Division, Emergency Response Office, the Ministry of Ecology and Environment, China）

14:05-14:50 基調講演：
最近 30 年間の大水害から見たことと今後の展望
玉井信行 先生（東京大学名誉教授・国際水工学会元会長）



14:50-15:10 総合討論

15:10-15:25 メディア研究の視点からのコメント：
災害情報の高度化に向けて～Lアラートの取り組みから
音 好宏 教授（上智大学文学部新聞学科教授・メディア・ジャーナリズム研究所長・総務省Lアラート運営諮問委員会委員長）



SOPHIA OPEN RESEARCH WEEKS 2020 11.6 FRI - 23 MON SOPHIA UNIVERSITY

